

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	5年生・通年・B群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木	
法 学 II (Law II)	担当教員		
	教員室	一般科目棟3階	
	E-Mail		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位[講義II] / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (200分)] × 18回		
<p>[本科目の目標]</p> <p>技術者である前に良識ある市民たれ」というスローガンのもとに、よき技術者としてだけでなく、よき市民として現代社会において生活するために必要な法的知識および法的思考力を養う。法学Iとの関連において、法学IIでは、商取引法を中心に取り扱い、現代ビジネスに必要な基礎知識を身につける。</p>			
<p>[本科目の位置付け]</p> <p>本科目は、3年次の政治経済および後学期開講の法学Iとの関連がある。</p>			
<p>[学習上の留意点]</p> <p>①この講義では、限られた時間で多くの内容を学習することになるので、毎回、教科書等を参考に予習 (50分程度)、復習 (150分程度) を行うこと。</p> <p>②六法は毎回の授業で使用するので、必ず持参すること。</p> <p>③法学検定試験問題集4級 (2009年度版) を購入し、予習・復習で活用することが望ましい。</p>			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 商人間の売買 (1) 国内売買の形態	2	商事売買の多様性および特色を理解することができる。	各授業項目について、図書館等において文献を読み、その概要を理解しておく。
(2) 契約の成立とその履行	2	契約の成立要件、商品引渡、商品の受領について理解することができる。	
(3) 国際売買概説	2	国際売買契約の成立要件、売買条件、契約条件への不適合と買主の救済制度について理解することができる。	
2. 消費者売買 (1) 消費者契約	2	消費者売買契約の意義と消費者契約法の概要を理解することができる。	
(2) 販売信用取引	2	信用取引の概要および割賦販売、ローン提携販売等に対する法規制について理解することができる。	
(3) 特定商取引	2	特定商取引契約の意義・態様および法的規制の概要を理解することができる。	
3. 企業金融 (1) 荷為替信用状取引	2	荷為替信用状の意義および信用状取引当事者間の法律関係を理解することができる。	
---後学期中間試験---	2	項目1～3 (1) について達成度を確認する。	

